

# NO消費税

2025.12  
第412号

発行 消費税をなくす全国の会

〒114-0023 東京都北区滝野川3-3-1-201  
TEL 03-3940-0401 FAX 03-3949-9885

●郵便振替 00130-2-16922 ●1部170円(送料共)  
●ホームページ <http://no-shouhizei.com/>

\*1999年1月18日 第3種郵便物認可  
\*2025年11月25日発行(毎月25日発行)



## ●目次●

国民の願いに背く高市政権	(1)
改憲・タカ派政権の危険性と脆弱性	(2)
東西南北(各地の取り組み)	(4)

暮らし、生業に役立つ経済教室⑥	(6)
エッセー (日常生活も文化も破壊していく消費税)	(7)
みんなの声	(7)
給付付き税額控除の問題点	(8)



消費税ノーの宣伝に集まった福島の会の皆さん

いま、国民が切実に求めていることは物価高対策、消費税の減税です。「なくす会」は、消費税減

暮らし、生業に役立つ経済教室⑥ (6)  
エッセー (日常生活も文化も破壊していく消費税) (7)  
みんなの声 (7)  
給付付き税額控除の問題点 (8)

## 「国民の願いに背く高市政権」

高市自維政権発足後、初の国会論戦が始まっています。軍拡路線

税を公約した政党は「減税法案の共同提出を」と求めています。

### 食料品ゼロで価格は下がる?

消費税減税の声が高まる中、街頭での対話で「せめて食料品の消費税をなくしてほしい」という声をよく聞きます。その声をしっかりと受け止めながら対話を重ね、問題点を知らせ、消費税5%への減税・廃止への共感を広げることが大切です。立憲民主党は10月31日、食料品ゼロ法案を単独で衆院に提出しました。同法案は給付付き税額控除とセットです。その問題点については今号8面に掲載しています。

### 軍備増強は許さない

高市政権の危険な動きとして見過ごせないことは、軍事費増強を打ち出していることです。トランプ氏との会談では、高市首相が米原子力空母の上で米兵を前に大軍

拡を誓約し、飛び跳ねてはしゃぐ姿に嫌悪感を覚えた人も多いのでは。しかも26年のノーベル平和賞候補にトランプ氏を推薦する意向を伝えたというのですから、開いた口が塞がりません。「消費税憲法変えれば戦争税」に絶対させない、と誓いを新たにしました。

一方、アメリカ国内では最大都市のニューヨーク市で、反トランプを掲げ、「民主的社会主義者」を公然と名乗るゾーラン・マムダニ氏が市長選で歴史的な勝利を収めました。高騰する家賃の凍結、市営バスの無料化、保育の無償化、最賃引き上げを公約。財源はもうかっている大企業や一部の富裕層への課税強化です。勝利のカギは草の根の力。9万人がボランティアで参加し200万戸以上を戸別訪問したといわれています。

「なくす会」も35年間、消費税をなくしたいと願う人たちと手を取り合って「草の根の力」を発揮してきました。「消費税減税の絶好のチャンス」。この機会を逃さずさらに底力を発揮するときです。